

中等教育研究開発室年報 第34号 (2021年3月31日発行) 別冊電子版  
2020年度 授業実践事例

保健体育科 中学校第1学年

ダンス

授業者 木戸 恵理

(校内研究授業)

広島大学附属中・高等学校



## 中学校 保健体育科（体育）学習指導案

指導者 木戸 恵理

- 日時** 令和3年1月20日（水） 第5限 13:20～14:10
- 場所** 体育館
- 学年・組** 中学校1年生女子 60人（A組20人 B組20人 C組20人）
- 単元** ダンス
- 目標**
1. 多様なテーマからイメージを捉えたり深めたり，伝承されてきた踊りの特徴を捉えたり，リズムに乗って全身で踊り表現することができる。（技能）
  2. ダンスはコミュニケーションを豊かにする身体表現であることを理解し，作品のイメージを捉えて自己表現する方法を考えることができる。（知識・理解，思考・判断）
  3. ダンスに積極的に取り組むとともに，交流などの話し合いに参加しながら，健康・安全に気を配ることができる。（関心・意欲・態度）

### 指導計画（全9時間）

- |                            |             |
|----------------------------|-------------|
| (1) オリエンテーション及びリズムに乗る感覚を知る | 1時間         |
| (2) 伝承されてきた踊りに触れ特徴を捉える     | 1時間         |
| (3) テーマのイメージを捉え表現する        | 4時間（本時 3/4） |
| (4) 現代的なリズムのダンスのステップを習得する  | 1時間         |
| (5) 現代的なリズムのダンスの一部を創作し発表する | 2時間         |

### 授業について

学校体育におけるダンスは，中学校において「多くの領域の学習を経験する時期」として2012年度から必修化された。ダンス授業は「創作ダンス」，「フォークダンス」，「現代的なリズムのダンス」で構成されており，イメージをとらえた表現や，踊りを通じた交流を通して仲間とのコミュニケーションを豊かにすることを重視する運動である。仲間とともに感じを込めて踊ったり，イメージをとらえて自己を表現したりすることに楽しさや喜びを味わうことができる。

学校体育では，身体的能力や運動技術の向上だけでなく，心理的・社会的なスキルの向上もその目的とされている。その点において，ダンスは，自己の内的世界の表現や心身の解放，多様な身体能力の表出を迫るなど，競争や記録を特徴とするスポーツとは異なり，心身と対話することや仲間と感じ合うことなど，運動技能面以外の能力の向上としての教育的価値があると考えられる。とりわけ「創作ダンス」には，仲間とひとまとまりの表現を創ることを通して，個性を認め合い良さを学ぶ機会や，能動的で協同的な学びの機会が豊富にある。

事前の調査において，多くの生徒が「踊ることに興味がある」ものの，「ダンスにはテクニックが必要」で「難しい」と感じていることが分かった。一方で，「人と話すのは得意」であるとする者が多くみられたため，本単元では仲間との交流の場面を設けながら，ダンスへの抵抗感を減らしていく構成とした。

心理的・社会的なスキルの向上のために，運動技能の要素よりも自身の身体との対話や他者との対話を通じて，自由な発想で表現することで運動としての楽しさや喜びを感じてもらいたい。

### 本時の目標

- (1) テーマからイメージを捉えたり深めたりしながら，全身を大きく使って表現することができる。（知識・理解，思考・判断，技能）
- (2) 創作活動に積極的に取り組むとともに，仲間との話し合いに参加しながら，合意形成を図ることができる。（関心・意欲・態度）

### 本時の評価規準（観点／方法）

- (1) 既習事項を振り返り、テーマに沿った表現方法や群の動き、空間の使い方を工夫しながら、学習活動をしている。（知識・理解、思考・判断、技能／学習プリントの記述）
- (2) ダンスに積極的に取り組むとともに、交流などの話し合いに参加しながら、互いに協力して学習活動に取り組んでいる。（関心・意欲・態度／学習活動の観察）

### 本時の学習指導過程

指導過程	学習活動	指導上の留意点
<導入>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・6列縦隊で集合，挨拶，点呼</li> <li>・欠席，見学者の有無を確認</li> <li>・8844221111 体操</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・欠席者，見学者確認</li> <li>・健康観察，体調の確認</li> <li>・リズムに乗って体を大きく動かすように促す。</li> <li>・カウントが取れる人はカウントを取ってみよう指示する。</li> </ul>
<展開>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・前時の復習と本時の課題の確認</li> <li>・イメージカルタで即興表現</li> <li>・ダンスノート，筆記用具配付               <ul style="list-style-type: none"> <li>・作品を創る際のポイント</li> <li>・群の動き，空間の使い方</li> </ul> </li> <li>・グループでの活動 姉妹グループのアイデアを聞きながら新しいグループでの作品を構成する。</li> <li>・アイデア，隊形などをグループのプリントに記入する。</li> <li>・実際に動きながら確認する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・前回と同じ札だった場合は違う表現の仕方に挑戦するよう指示する。</li> <li>・作品を創る際のポイント，群の動き，空間の使い方をノートを使って示す。</li> <li>・テーマに沿った音楽を流し続け，イメージが湧きやすいようにする。</li> <li>・床に座り続けることなく，活動するように促す。</li> <li>・話し合いのときは密にならないように声掛けをする。</li> </ul>
<まとめ>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・個人のダンスノート記入</li> <li>・次時の予告</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・アルコール消毒をさせる。</li> <li>・健康確認</li> <li>・カードの確認</li> </ul>
準備物	学習プリント（個人・グループ），イメージカルタ，オーディオ，机9台	

## 実践上の留意点

今回の授業の目標は、即興表現から生まれたアイデアをグループ内で交換することを通じて、1つの作品を創造することであった。表現の方法のヒントは与えるものの、具体的な表現方法の工夫などはあえて示さなかった。正解のない生徒の自由な発想をグループ内で合意形成を図りつつ、思うままに表現してほしいと考えたからである。また、今回取り扱った創作ダンスにおける学習のねらいは、集団の特性によって適切なものを設定する必要がある。とりわけ本時では、創作活動を通じて仲間との話し合いに参加しながら、合意形成を図ることができることとしたが、学習活動に意欲的な集団であったため、グループ内で試行錯誤しながら活発にコミュニケーションをとることが既にできていた。そのため、本集団ではねらいをさらに発展させ、表現方法や隊形の工夫についてまで言及しても良かったのではないかと考える。一方で、グループごとに進度にばらつきがあり、構成を考えることに夢中になってしまったため体を動かす活動ができていないグループもあった。創作活動を途中で中断し、グループ同士で見合うなどの時間を設け、互いに気づきを共有することができればよかったと感じた。

本単元で扱ったイメージカルタは、冒険をテーマに、「無人島に漂着」、「火山の噴火」、「コウモリのおにごっこ」などの9つの場面を示した。今後はカルタの内容を変化させたり、より抽象度の高いものにしたりすることで、今回とは違った表現の工夫がみられるのではないかと考える。

課題の設定について、今回はテーマと音楽をあらかじめこちらで設定していた。これは、すべて生徒に選択させてしまうと課題が多くなりすぎて負担になるのではないかと考えたからであるが、授業時数に余裕があれば音楽を数曲から選択させ、さらにテーマを「○○な冒険」などにするとグループによってオリジナリティあふれるものになったのではないかと考えられる。

